



理工学専攻電気電子工学コース大学院生が
2022年度応用物理学会九州支部学術講演会にて発表奨励賞を受賞

【概要】

理工学専攻電気電子工学コース博士前期課程2年 大石 美帆さんが、2022年11月26日～27日に大分大学にて開催された2022年度応用物理学会九州支部学術講演会にて発表奨励賞を受賞しました。

【本文】

理工学専攻電気電子工学コース博士前期課程2年 大石 美帆さんが2022年11月26日（土）～27日（日）に大分大学で開催された2022年度応用物理学会九州支部学術講演会にて、発表奨励賞を受賞しました。

大石さんは、博士前期課程で研究を進めている太陽電池材料の研究成果について11月26日（土）に口頭講演を行ったところ、その発表内容が高く評価され、今回の受賞に至りました。本賞は、Asian-APCと並行して開催された応用物理学会九州支部学術講演会での発表を含めた136件の一般講演の中から、自己申告した候補者について厳正な審査により選考されており、今年度の受賞者は6名でした。今後、益々の研究の発展が期待されます。

○発表奨励賞

理工学専攻電気電子工学コース博士前期課程2年 大石 美帆さん

（指導教員：田中 徹 教授）

題 目：高周波マグネトロンスパッタリング法によりサファイア基板上に作製した
Cu₃N 薄膜の基板温度依存性

発 表 者：大石 美帆, 齊藤 勝彦, 郭 其新, 田中 徹

ホームページ：<http://annex.jsap.or.jp/kyushu/award.html>（近日掲載予定）



受賞した大石さん



授与された賞状